

北海道大学の跨道橋（北7西10）を撤去

～石山通の夜間車両通行止めにご協力を～

【概要】

北海道大学札幌キャンパスには、石山通に架かる跨道橋があります。農学部地区と札幌研究林の実験苗畑を繋ぐ本跨道橋は、約50年間使用されてきましたが、老朽化により撤去することとなりました。撤去工事に伴い、夜間に車両の通行止めを行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本工事で伐採された木材は、アートを通じた科学技術コミュニケーションの実践研究として活用する等、本学では今後もサステイナブルキャンパスとしてSDGsの達成に貢献して参ります。

【跨道橋撤去に至った経緯】

本跨道橋は、1972年（昭和47年）に設置されました。当時の札幌は、札幌冬季オリンピックのため、地下鉄や幹線道路が急速に整備されました。本跨道橋も札幌市による札幌圏都市計画道路新設工事の一環として整備されたものです。本学札幌キャンパスは、当該計画道路により分断されましたが、長年、本跨道橋を構内のアクセスに使用して参りました。

建設から50年近くが経過し、現行の構造基準には適合しなくなりました。平成27年度から今後の維持管理方法のあり方について検討を開始し、令和元年度に代替経路を構築の上、跨道橋を撤去することとなりました。

【撤去工事の詳細及び夜間車両規制】

道路上の橋げたの撤去は、橋下の道路通行の安全に配慮する必要があります。橋上での作業が必要最小限となるよう、本工事では、橋げたのコンクリート部分の解体を行いません。1200tの超大型クレーンを用いることで、構内の東西エリアから2分割にして吊り上げます。吊り上げた橋げたは、大学構内に下ろしたあとに、分別のうえ処分します。（別添図参照）

橋げたの吊り上げ作業やその他の関連工事の際に、次のとおり車両通行規制を行います。

全線通行止め日時 : 令和3年10月20日（水）及び10月25日（月）22時から翌6時まで
（天候等の影響により変更の可能性があります。）

上記の迂回経路 : 別添図参照

※この他、関連の作業により一部車線規制をする場合がありますので、交通誘導員の指示に従い、ご通行ください。

【伐採木の活用】

跨道橋の撤去に伴うアートプロジェクトを進めます。市民の跨道橋の思い出を集める「さよなら、アノハシ」、撤去工事で伐採した木材を地元の家具作家 10 組がオリジナルの椅子にし、研究者とトークをする「札幌の椅子、北海道の木 2021」、伐採した木材を使った木彫作品や、伐採の工程を記録した映像作品の展示を予定しています。これらの取り組みは、跨道橋の近くにある古い温室をフィールドにして行う「アノオンシツ」プロジェクトの一環として行います。

お問い合わせ先

【通行止めや車両規制に関すること】

岩田地崎建設株式会社 庄司善久（しょうじよしひさ）

T E L 080-4602-3369

【「アノオンシツ」プロジェクトに関すること】

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 朴 炫貞（パクヒョンジョン）

T E L 011-706-5258 F A X 011-706- 5320 メール park@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/19365>

【その他の跨道橋に関すること】

北海道大学施設部施設企画課 課長補佐 田中陽二（たなかようじ）

T E L 011-706-3203 F A X 011-706-4886 メール k-hosa2@facility.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

北海道大学の跨道橋（北7西10）撤去について

位置図

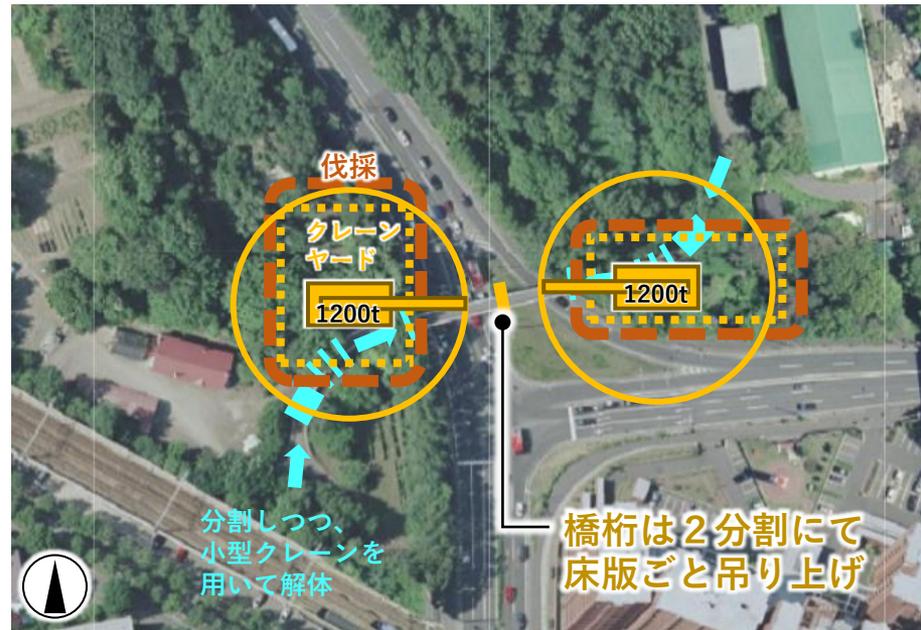


住所 | 札幌市北区北7条西10丁目

参考

昭和36年頃の航空写真
石山通が敷設される前の
状況

施工計画



- ① クレーンの設置ヤードとなる部分などの橋の撤去に支障となる樹木は伐採します。
- ② 跨道橋の根本部分の撤去は小型クレーンを用い、均しながら解体を進めます。
- ③ 道路上の橋げた部分は、1,200 tの超大型クレーンにて構内の東西エリアから2分割にして吊り上げます。その際は、夜間に全線通行止めとして実施します。



1200 t クレーン (例)

橋げた吊り上げの際は、
夜間全線通行止めにて対応

